

池田・室田：「構造系の座屈と分岐」第3刷（コロナ社，2015年）正誤表  
 （2021年5月23日現在）

場所	誤	正
16頁3行目	4本の解曲線	5本の解曲線
16頁4行目（挿入）		$x = y = 0$ , 解曲線0 ( $f$ 軸)
65頁(5.42)式下	式(5.41)と(5.42)を式(5.40)	式(5.40), (5.41), (5.42)を式(5.39)に
70頁第8行目	その他の断面剛性	ばね定数 $k$ は十分大きく  その他の断面剛性
85頁6.2.2節第1行目	図6.6の左側	図6.6の上側
88頁問6.2	また，図(b)のフレームの部材長 ...	また，全ての部材は同一である。
119頁第2行目	$\partial \mathbf{F} / \partial f = EA(0, 1)^T$	$\partial \mathbf{F} / \partial f = EA(0, -1)^T$
140頁式(11.23)下第6行目	荷重の極大・極小点と	荷重の停留点と
141頁図11.2右下	$A_{20} = 0, A_{30} \neq 0$ 対称	$A_{20} = 0, A_{30} \neq 0$ $A_{11} \neq 0$ 対称
144頁下2行目	$A_{30} \neq 0$ )	$A_{30} \neq 0, A_{11} \neq 0$ )
156頁下から第6行目	図中，実線により示す	図中，太線により示す
157頁第3行目	右側に破線で示す。	右側に細線で示す。
176頁第2行目	$U(x, y)$	$U(x, y, z)$

場所	誤	正
181 頁問 4.1(2) 第 2 行目	$J(0, 0, f) = (kL^2)^2 \dots$	$\det J(0, 0, f) = (kL^2)^2 \dots$
187 頁 図 A.5 左		
190 頁第 2 行目	$(P/\sqrt{2}, P/\sqrt{2})$	$(P/\sqrt{2}, -P/\sqrt{2})$
190 頁 問 7.2 第 5 行目	$\begin{pmatrix} 0 \\ 4f/(3EA) \end{pmatrix}$	$\begin{pmatrix} 0 \\ 4f/3 \end{pmatrix}$
190 頁 問 7.2 第 7 行目	$f_1 =$ $f_2 =$	$f_1 = EA$ $f_2 = EA$
194 頁 図 A.7(a) の横軸	節点 1 の	頂点の
194 頁 図 A.7(a) の縦軸	$f/EA$	$f$
195 頁 問 11.3	$\hat{F} \sim 4\tilde{x}\tilde{f} - 4\tilde{x}^3$	$\hat{F} \sim \frac{4EA}{3}(\tilde{x}\tilde{f} - \tilde{x}^3)$